**COG（Children’s Oncology Group ）から**

**：小児・AYA世代の小児がん患者さんとその御家族へ**

新型コロナウイルス（COVID-19）は現在世界で感染が広がっています。小児がん患者さんとその御家族におきましては不安がいつもよりも多いと思いますし、特に治療中のために免疫力が低下している方はなおさらであると思います。

**小児・AYA世代の小児がん患者さんのご両親やお世話をされる方は、特にご注意が必要になります。**下記に、感染の機会を少なくするため、そして周りの方にうつさないための内容と方法をまとめました。また、いつもと同じくお子さんを担当している医療チームともご相談頂くことをお勧めします。

**新型コロナウイルスはどのように広がるのか？**

**・**感染者の呼吸器から発散されるものと接触することにより広がります。

・感染者が無防備で話したり咳やくしゃみをすることで、鼻や口から約２ｍ発散されます。

・感染者が手で鼻を拭いたり、咳の時に手で口を覆ったりした後、ドアノブや電気のスイッチ、電話、キーボード、水道蛇口やガス器具を触った後に、発散されたウイルスは他の表面に付着しています。

・上記を介して、お子さんの鼻や口、目にウイルスが接触しますと感染することになります。感染者と直接接触接すること以外に、ウイルスが表面に付着しているドアノブなどからも感染は起こりえます。

**どうしたらお子さんを感染から守れるのでしょうか？**

**・周りの方らかの距離を置く原則を守りましょう。**

**―**可能であれば周りの方とは２ｍの距離を置きましょう。

**―**集会への参加やひとごみは避けましょう。

**―**バスや地下鉄などの公共交通機関の利用はできるだけ避けましょう。

**―**できるだけご自宅で過ごし、具合が悪くて感染症が疑われる方とは離れて過ごしましょう。

**・良い衛生管理の方法は？**

**―**こまめに手を洗うこと。お子さんも御家族もともに、起きているときは少なくとも1時間に1回、石けんと水で20秒以上洗うこと。

**―**お子さんが年齢的に可能でしたら、目や鼻、口を触らないようにお話ください。

**―**いつも触るところ、たとえば電話やキーボード、ドアノブ、電気のスイッチなどは、1日に1回は除菌を心がけましょう。

　―お子さんが他の方と握手やハグをすることは避けましょう。

　―お子さんのコップやタオルなどの日用品は他の方と分けて使うようにしましょう。

**この新型コロナウイルスの流行時に小児がん治療は継続できるのでしょうか？**

・多くの場合、計画通りに継続は可能でしょう。

・お子さんの医療担当チームは、必要な治療を継続するようにしています。

・担当医療チームとご相談なく、ご自宅での化学療法を中止することは決してなさらないでください。

・もし治療についての質問がある場合は、担当医療チームに必ずご相談ください。

**新型コロナウイルス感染症の症状は何ですか？**

・主な共通する症状は、以下になります。

　―発熱

　―咳

　―息切れや呼吸困難

・このような症状がでる場合もあります。

　―全身倦怠感

　―全身の痛み

　―鼻水

　―のどの痛み

**お子さんが発熱したら病院へ行かなければならないか？**

・新型コロナウイルス感染症の流行によって変わることはありません。

・これまで担当医療チームから指示されている方法に従って対応しましょう。

**お子さんが新型コロナウイルス感染症にかかったかもしれないと思ったとき、どうすればいいでしょうか？**

・担当医療チームに連絡して、その指示に従いましょう。

・小児がん治療に関わっている担当医療チームに連絡することが大切です。

**他にできることはありませんか？**

・小児がんのお子さんと御家族にとっては大変な時期と認識しています。

・新型コロナウイルス感染症の流行状況は日々変わりますので、担当医療チームと連絡を取り合うことが大切です。

・ご質問やご不安がありましたら、担当医療チームにお尋ねください。

(翻訳：日本小児血液・がん学会　学術調査委員会)